

平成30年度災害廃棄物処理計画策定モデル事業(静岡県机上演習)

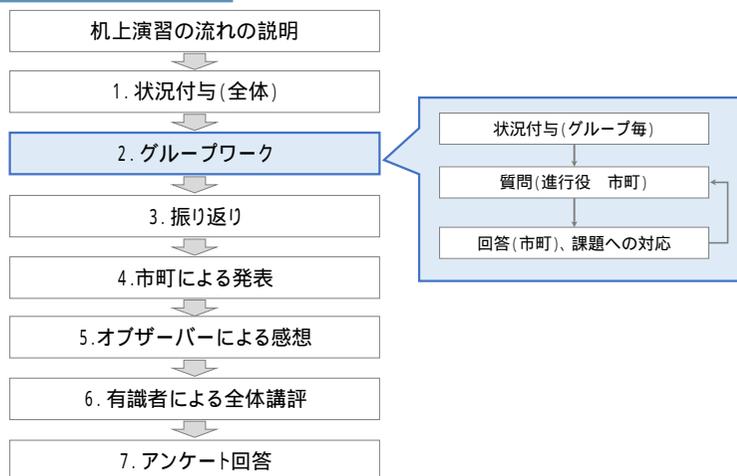
演習の目的

- 県内市町の災害廃棄物処理計画(県内市町の策定率:90%以上)の検証と適切な改定・見直しに向けた課題の抽出
- 演習を通じた県及び市町の災害廃棄物対策のスキルアップ

実施概要

- 災害時に起こりうる典型的な課題を理解し、その対応を検討するため、講演型の事前勉強会と机上演習(模擬・本番)を実施
- **事前勉強会**
実施日時 | 2018年12月6日(木) 10:00~12:00
内 容 | 机上演習で取扱うテーマに関して、外部講師を招いて講演形式で実施
- **模擬演習**
実施日時 | 2018年12月6日(木) 13:30~16:30
テーマ | 発災初動期の生活ごみや避難所ごみ等の収集運搬、処理への対応
参加者 | 県(8名)、県内28市町(33名)
- **机上演習(本番)**
実施日時 | 2019年1月30日(水) 12:30~16:30
テーマ | 発災初動期の片付けごみへの対応、仮置場の設置・管理・運営への対応
参加者 | 県(10名)、県内31市町(38名)

演習の進め方



演習概要

演習を通して、処理計画に記載すべき事項を抽出

対象フェーズ	演習内容	達成目標(例)
発災から1日後	最優先で対応すべき廃棄物への対応	□初動期に最優先で対応すべき廃棄物の種類やその対応を検討して理解する
	ごみの収集に関する住民からの問い合わせ対応	□住民からの問合せへの対応に必要な事項を検討して理解する
	生活ごみ・避難所ごみの処理の支援要請	□生活ごみ・避難所ごみの処理の支援要請の手順を検討して理解する □実際に支援が行われるまでの対応を検討して理解する
発災3日後	仮置場の選定、住民等への広報	□仮置場の選定にあたっての留意点を検討して理解する □片付けごみの排出方法に関する住民等への広報の重要性を認識し、実際に住民への広報文を作成する
	仮置場の設置・管理・運営に必要な資機材、レイアウトの検討	□仮置場の設置・管理・運営に必要な対応を検討して理解する □仮置場のレイアウトを検討する
発災10日後	逼迫する仮置場への対応	□仮置場が逼迫した状況下において必要な対応を考える □無人の集積所の発生防止策、管理方法、解消に向けて必要な対応を考える



演習の成果・課題

- **【成果】**多くの参加者から「計画の見直しが必要」、「具体的な対応の検討・計画への反映が必要」といった声が寄せられ、計画改定の必要性が認識された。
- **【課題】**改定した計画の実効性を検証するため机上演習の継続実施が必要。
- **【課題】**今後は県独自で机上演習を継続していくため、県内市町村職員を巻き込んだ演習の計画が必要。